

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年2月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400010		
法人名	医療法人 久仁会		
事業所名	小規模多機能型居宅介護ふれあいホーム虹の丘	ユニット名	—
所在地	〒319-3552 茨城県久慈郡大子町大字矢田93-1		
自己評価作成日	平成23年7月21日	評価結果 市町村受理日	平成24年2月13日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年9月9日	評価確定日	平成24年2月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者一人一人の個性を見極めその人にあったサービスを提供できるよう、事業所全体で取り組んでいる。</p> <p>地域の特性、資源を生かしたミニ菜園や調理、季節感を味わうドライブなど行い刺激のある生活ができるよう支援している。</p> <p>特にドライブ（外出）は事前に計画していたものだけでなく朝刊に載っていた記事や、職員の情報などから急きょ出かけるなど閉塞的にならないようにしている。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は自然に恵まれた静かな高台にあり、利用者は地域の神社の田植え祭りやよさこい祭りなどの行事に参加し、地域住民と交流を図っている。</p> <p>地域のボランティアがミュージックセラピーや和紙づくり、絵手紙、習字などの趣味活動や事業所の誕生会などの行事に来訪しており、利用者の作品は町の芸術祭に出品している。</p> <p>職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子から声かけをすることでトイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援に努めている。</p> <p>運営推進会議のメンバーが協力者となり、併設の介護老人福祉施設と共用の広い駐車場敷地を利用して地下貯水槽の設置を検討するなど、会議での意見等をサービスの質の向上に活かしている。</p> <p>事業所が高台にあるため浴室からの眺めがよく、広い浴室で仲の良い利用者が一緒に入浴したり、状態により機械浴で対応するなど、寛ぎ安心して入浴ができるよう支援するとともに、季節により林檎湯や柚子湯、菖蒲湯を取り入れて楽しめるよう工夫をしている。</p> <p>施設長と管理者、職員のコミュニケーションが図られ、利用者が家庭的な雰囲気の中でその人らしく過ごせるよう質の高い支援に努めている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を事務室に掲示している。また、ミーティングなどで理念、方針について再確認し事業所の目標を明確にしている。	「高齢者の希望を受け入れて、柔軟なサービスで対応する。通いを中心に本人や家族の状況に合わせて継続した支援を提供する。地域の方々との関係を維持継続できるように調整する」を理念とし、事務室に掲示するとともに朝夕の申し送りやミーティング時に確認し、共有を図りながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	誕生会や施設の行事に地域の方々に来て頂いたり、伝統行事の神社の田植え祭やよさこい祭りの見学をしたり地域との関わりを持つようにしている。	利用者と職員は地域の神社の田植え祭りやよさこい祭りなどの行事に参加するとともに、事業所周辺の草刈りをするなど地域の一員として日常的に交流している。 地域のボランティアが事業所の行事や誕生会のほか、ミュージックセラピーや和紙づくり、絵手紙、習字などの趣味活動のために来訪し、利用者の作品は町の芸術祭に出品している。 職場体験学習として近隣の中学生を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	高齢者や認知症の方々への事業所での対応や介護の知識など区長、町内会会長など地域の代表の運営委員の方に情報を提供したり意見を交換している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	登録状況や行事、事例報告を行い外部からの貴重な意見を今後のサービスに生かせるよう努めている。また地元消防団の視察、老人会会長さんのご紹介など協力して頂いている。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、地区長、町内会長で2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の活動報告や運営上の問題点などを話し合うとともに委員が協力者となり、老人会への働きかけや地元消防団による事業所の視察などを行っている。 併設の介護老人福祉施設と共用の広い駐車場敷地を利用して地下貯水槽の設置を検討するなど、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に毎回町の福祉課より担当者が参加している。その他情報交換をしながら、相談・アドバイスをしていただける信頼関係を築けるよう、連絡を取るようにしている。	市担当者が運営推進会議に毎回出席している。 職員は市担当窓口に出向き情報交換をしながら事業所の運営上の問題等を相談したりアドバイスを受けており、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については年に1度研修の機会を持ち、適切な対応ができるようにしている。危険だからと安易に行動を抑制しないよう全職員が考えている。	身体拘束をしないケアに関する研修会を開催し、全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待に関して、自分達の役割、位置づけを確認している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	勉強会を行い、制度について理解を深めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には十分利用者本人・家族の意思を伺い、又施設側からのお願いも伝え理解していただいている。利用開始後も疑問や不安がないかコミュニケーションをとり確認している。今年度は家族アンケートを実施予定。家族の声を生かせるよう考えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や苦情の相談受付を重要事項説明書に明記し契約時に説明している。又、連絡手帳を利用し意見等を多くいただけるよう努めている。職員は何でも話しやすい関係を築けるよう指導している。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 家族等の意見や要望は連絡手帳を利用するほか、利用者の送迎時に家族等と話をする時間を多く持つことにより話し易い関係の構築に努め、出た意見等を運営に反映させている。 家族等の意見や要望をより多く汲みあげるため家族アンケートを計画しているが、実施するまでには至っていない。	家族等が意見や要望を出し難いことに配慮して家族アンケートを計画しているので、実現することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングでの意見交換、日常的にも意見、提案をしやすい雰囲気をつくり心がけしている。	管理者は月1回定例ミーティングを開催し職員の意見や提案を聞く機会を設けるとともに、日頃から職員とコミュニケーションを図り意見や提案を気軽に伝えるような雰囲気づくりに努めている。 利用者に対して在宅との環境を変えない支援の方法や尿失禁時の対応など、職員から出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に1回個別に職員面接を実施し目標や勤務体制、仕事上の問題などヒアリングし働きやすい職場になるよう努めている。また日常的にも声をかけ会話ができるよう考えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月開く施設内の研修、外部研修の伝達等への参加で職員の質の向上を図っている。また、役割をつくり責任感や仕事への意識を高めるようにしている。困難な介助のケースは先輩スタッフがアドバイスをしたり介護に不安なく取り組めるよう考えている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	居宅の介護支援専門員に相談やアドバイスをいただいたり、併設の老健との交流を積極的に行い柔軟な考え方ができるように努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	介護支援専門員が応対し、本人が利用にあたってどんな不安があるのかを聞き出し一つ一つ解決していけるようにしている。すべての職員が同じようにサポートできること約束している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族がどんなサービスを望んでいるのかをきちんと把握し事業所で対応できることを説明している。家族との協力が重要なポイントになる為すべて任されるのではなく協力し合うことを確認している。また家族を含めたサポートができることを話している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族がどのようなサービスを必要としているのか、当事業所で満足のいくサービスを提供できるのかを見極められるよう面談している。当事業所よりもニーズにあったサービスがあれば紹介するようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の特徴を把握し、日常的にしている洗濯ものたたみや、植物への水やり、簡単な掃除、テーブル拭きなどできる事を積極的に手伝っていただき、一緒に生活している雰囲気を作れる様になっている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設の役割とできることを説明。また家族がどこまで関われるかを確認し、家族、事業所、地域とみんなで支えていくことを確認している。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	サービス利用中でも家族や知人が気軽に訪ねてこられるような雰囲気と職員との関係を築けるよう努めている。	流しそうめんなど事業所の行事に近隣住民の参加を得るとともに、ボランティアや老人会に声をかけて馴染みの人との交流の機会を持てるように支援をしている。 利用者の送迎時に以前住んでいた地域まで遠回りしてドライブし、馴染みの場所との関係が途切れないように努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の生活や利用者の性格などを考え席の配置など気をつけている。また一緒に協力して物作りをしたり、ゲームをしたり利用者同士が馴染んでいけるようなことを提供している。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後も経過を家族に聞いたりさまざまな相談にのったり、利用に関係なく協力できることがあればと考えている。地域で支え合っていることを家族に感じてもらえるよう努めている			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人が普段の生活の中でちょっとつぶやいた言葉、しぐさなど見逃さないよう気を配っている。また職員で共有できるように記録には赤わくをつけて区別している。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに、日々の係わりの中で利用者の何気ない言葉やしぐさなどを見逃さないよう気を配り、把握した思いや意向は引き継ぎノートに赤枠で記録して職員で共有を図っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の今まで生活してきた様子をヒアリング、職員全員が把握できるように記録している。	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用中の本人の様子、自宅での様子を把握しできるだけ同じ様な環境の中で生活できる様考えている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員からの意見、情報や他サービスからの情報などを参考に職員全員でミーティングを行い、ケアの仕方について話し合っている。月に一度はモニタリングを実施し見直しの必要がないが確認している。	介護計画は利用者や家族等の意向や課題を把握し、看護職員を含む全職員で話し合い作成するとともに、毎月モニタリングを実施して現状に即した介護計画に見直している。 家族等には利用者の送迎や面会時に説明して確認を得ている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は業務日誌や申し送りノートなどに記載し、朝、夕には職員間で確認することにより、情報の共有を図っている。本人の希望や思いは赤枠。家族とのやり取りは青枠にし他の記録と区別している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	計画したサービスだけでなく急な変更に対応できる事を家族に伝ええる限りの支援をしていける様準備している。利用時間についても通常時間以外でも対応できるようにしている。また利用時間中の通院や買い物などにも対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	暮らしを支援するため福祉用具のレンタルや無償で利用できる地域のサービスなどの情報を伝えられるよう努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のかかりつけ医を把握し、必要に応じ、通院、連絡、連携をとれる様に努めている。受診の際には、文章等で様子の変化を報告している。母体が医療法人でもかかりつけ医の変更をお願いすることはない。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 家族等が付き添って受診する場合は利用者の状態を記した書類を準備して適切な医療が受けられるように支援するとともに、結果の報告を受けている。 職員が付き添った場合は受診結果を家族等に報告している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師は看護業務にとどまらず、介護職員と同じ仕事をする事により、日常的に関わる事ができ変化にもすぐ気がつき対応できる。また、通院、入院などの際にはかかりつけ医に情報を提供している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、施設での利用状況などサマリーを送り情報を提供している。また入院中、退院の前に病院に行き本人の状態を見させて頂き退院後のサービス利用を相談している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針を利用者や家族に説明し、今の状態と今後起こりうる変化について話し合い対応や家族の希望を確認している。	重度化した場合や終末期のあり方について事業所の対応指針を作成し契約時に利用者や家族等に説明しているが、書面で同意を得たり看取り介護マニュアルを作成するまでには至っていない。	看取り介護マニュアルを作成するほか、重度化や終末期に向けた事業所の対応指針説明時に書面で同意を得ることが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	特に危険性のある利用者については予想できる変化、対応を家族を含め確認している。また対応の仕方についても定期的に職員で話し合っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な総合訓練以外に毎月避難訓練を実施している。また夜間想定訓練も実施している。また地元の消防団に施設に来て頂き立地状態、施設内を見学していただきました。	毎月事業所独自の避難訓練を行うとともに、年2回消防署立会いのもと夜間想定を含めた避難訓練を実施している。 緊急連絡網を掲示するとともに地元の消防団に事業所に来てもらい、立地状態や事業所内の様子を検分してもらっている。 避難訓練の結果を記録し反省点などを話し合っ改善に努めているが、訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害の発生に備えて食料品や飲料水などを備蓄している。	運営推進会議で話し合ったり、避難訓練時に近隣住民に声をかけて参加を得るなど、地域との協力体制を築くことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに関する研修を行い、親しみやすい関係の中にも尊重、尊敬する気持ちを忘れない様に指導し、特に排泄や入浴の際には十分配慮した対応ができるよう心掛けている。	管理者はプライバシー保護に関する研修を実施して職員の意識向上を図っている。 職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、特にトイレ介助や入浴時には誇りやプライバシーを損ねないような言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管するなど取り扱いには十分注意をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴、レクリエーションなどの参加や時間帯、内容を利用者が決定できる様配慮している。また自己決定が困難な利用者についても、できる限りコミュニケーションの中から本意を見いだせるよう対応している。外食の際にはメニューの中から食べたい物を選んで頂いている。	/		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のその日の体調や気分にも十分配慮し、入浴、レクリエーション、食事、後睡など本人の希望に合わせて対応している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴後、朝起きた時に鏡の前で髪をとかしていただいたり、自分で顔を洗ったりできるようにその人に合った支援をしている。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事をする事で嗜好や食べやすさなどを把握している。刻みや、お粥など希望や能力に応じて提供している。食事の後はテーブルを拭いて頂いたり、履き掃除など手伝って頂いている。またお菓子作りや、ミニ菜園、流しそうめんなど楽しめるよう工夫している。	職員は利用者と会話をしながら楽しく食事ができるように支援をしている。 利用者の希望や嚥下機能に適した刻み食やおかゆなどを提供しているほか、行事食や流しそうめん、外食、お菓子作りなどを取り入れて変化をつけ、食事が楽しみなものとなるよう努めている。 利用者は食卓を拭いたりエプロンや布巾をたたむなど、能力に応じて役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員と一緒に食事を取り、食事量をチェックし記録している。水分量に関しては定期的にお茶等を提供し、十分に確保できる様にしている。水分制限のある方には家族と相談し管理している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には声掛けを行い、自分でできない利用者には介助している。又、夜間は義歯の方は洗浄剤に入れて預かっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄時間を把握し、必要に応じ声掛け、誘導を行い、トイレで排泄できる様に支援している。夜間はポータブルトイレを居室に置いたり車椅子で誘導しオムツをしない様支援している。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者の様子から声かけをすることでトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援に努めている。 全ての居室にトイレが備え付けられているほか、夜間はポータブルトイレを利用しておむつの使用を減らしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日適度な運動をし、排便を促している。施設と自宅で排便の有無をチェックし記録し管理している。家族には手帳や口頭で排便の有無を伝えている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の体調を見極め、希望に沿って入浴を行っている。状態に合わせて機械浴などを使用し安心して入浴ができるよう支援している。またできるだけゆっくり入浴していただける様配慮している。楽しく入浴できるように入浴剤やリンゴやゆずなどを入れることもある。	入浴は2日に1回で通いの利用者は午前中、泊まりの利用者は午後となっているが、利用者一人ひとりの希望や健康状態によりいつでも入浴できるように支援をしている。 事業所が高台にあるため浴室からの眺めが良く、寛いで入浴することができるほか、広い浴室で仲の良い利用者が一緒に入浴したり、状態により機械浴で対応するなど、安心して入浴ができるように支援をしている。 季節により林檎湯や柚子湯、菖蒲湯を取り入れて入浴が楽しめるように工夫をしている。 入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら声かけの工夫をし、無理のないように対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	希望に応じ、午睡の時間を設けている。又、体調のすぐれない利用者にはゆっくり休める様スペースを提供している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師を中心に薬の確認・管理を行っている。薬の変更時には伝達し経過を観察する様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションや趣味活動を積極的に提供、外に出る機会を増やし気分転換をしている。又、洗濯物、新聞をたたんだり、植物の世話など生活の中で役割を持っていられるようにしている。秋には町の芸術祭に趣味活動で作った作品を出品し見学に出かけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の変化を感じられる様、施設の菜園の手入れをしたり、定期的にドライブ（りんご狩り、水族館、紅葉狩り、足湯温泉など）を行ったりしている。また利用者同士良好な関係のためにも利用者の自宅近くに他利用者を連れて行き、話題のひとつにしている。	利用者は職員と一緒に地域の行事や祭り見物に出かけているほか、職員は利用者の希望にそって散歩や買い物などに出かけられるように支援をしている。 利用者は日常的に自家菜園の手入れをしたり、水族館や林檎狩り、紅葉狩りなどのドライブに出かけており、職員は利用者ができるだけ戸外に出て季節を感じられるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時に食事代を自分で支払ってもらったり、買い物と一緒にいくことで社会参加ができるよう支援している。	/	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に書中見舞いや感謝の気持ちを書いた絵手紙を送ったり、趣味活動の中で支援している。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のある掲示物を一緒に作ったり、各行事の写真を貼ったりと工夫している。入浴時は脱衣室と浴室の温度差が少ないよう配慮している。テーブルには自宅や施設回りでとれた花を飾っている。	共用空間は天井が高く、利用者が居心地よく過ごせるように音や光、換気等に配慮をしている。 玄関には簾など季節感のあるものを設え、廊下には行事の写真や書道などの利用者の作品、手作りのカレンダーなどを飾っている。 居間のガラス窓を通して涼しげな緑のカーテンと朝顔の花を眺めることができ、家庭的な温かい雰囲気となっている。 柵や食卓に利用者の自宅や事業所周辺で採った花を飾り、季節を感じながら穏やかに過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	椅子には自分の座布団を、枕には名前入りのタオルを使い、自分の場所を各自意識できる様にしている。又、テーブル席も座り慣れた場所で落ち着いて頂ける様配慮している。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	泊まりの部屋は、できるだけ自宅での生活と変わりがない様、畳、ベッドと選択できる様にしている。使い慣れたものは持ち込んで頂き落ち着いて過ごせるようにしている。	居室には使い慣れた家具や時計、書道などの手作りの作品を飾り、自宅での生活と変わらないよう配慮をしている。 利用者は愛用の枕やクッションなどを持ち込み、居心地よく落ち着いて過ごせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや介助バーを必要な場所に取り付け、安全に配慮している。うまく場所を認識できない時は目立つように目印をつけたりしている。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 小規模多機能型居宅介護 ふれあいホーム 虹の丘

作成日 平成24年2月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	普段なかなか言いにくい利用者、家族の意見をうかがい、サービスに生かしたい。	家族アンケートを実施し、より多くの意見をくみあげる。	無記名の家族アンケートを実施する。	4月に実施予定
2	35	災害時に地域住民の方のように協力していただくか？また事業所として何が出来るか？コミュニケーションがとれていない。	災害時のお互いの協力体制の構築。	地域の方々との話し合い、又は、呼びかけ、などを通して、コミュニケーションを図る。	6カ月
3	33	終末期について個別にどう対応するか、という同意書等がない。	同意書の作成。	同意書を作成する。	6カ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。